

認知③グループ 平成 29年度 第5回 議事録

【年間テーマ： 認知症を抱えた方のケアと抑制をしない為の工夫】

平成 29年 12月 12日提出

日付	平成 29年 12月 9日(土)			
場所	セントラーザ博多		記録者名：金隈病院 田中英利	
出席者 (敬称略)	水城病院 瀧口千里	古森病院 門山安子	北九州津屋崎病院 山下真智子	北九州古賀病院 徳田かやの
	東福岡和仁会病院 中川未希	原土井病院 藤井貴子	有吉病院 長濱百合	
テーマ	1年間のまとめ、発表に向けてのシナリオ作り			
結論	見守り患者の対応に関して、「夕方の会」「他職種との連携」「原因分析」などが挙げられたが、これら3つに関係して言えることは、患者を個々として観察し計画を立て、計画に沿って実行し、実行したことを評価し改善していること。つまりPDCAサイクルを回し続けることが大事である。			
決定事項	発表テーマを「私達がこの会に参加して学んだ大切なこと」とし、ミトン・見守り・スピーチロックの中から「見守り患者の対応について」に絞り発表する。			
備考	次回、原稿の読み合わせ、紙に書くことを30～40分で行なう。 発表：1グループ7～10分。			
次回討論項目	役割（発表者・紙に書く人・貼る人など）を決める。			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@famcf.jp

(FAX.092-691-3961)